





阿波國

十中

仁果

外題曲五阿波



足利絹第十四編上册

笠亭作 棋盤樓画

足利文庫

永禄四年三月晦日
將軍義輝卿三好
筑前守義長方へ
御成の記

御鏡御紋香圖云

かうのづせりゆふ

はるるこころ百年

笑ふすべしあり



無形と有形不造成一**定紋文様**小用物へ**三鏡**と源氏の**四多**り卦木ハ**二箇**と組
乾为天坤为地**のど**名もふくく漢めこれ儒者之醫師の字辨ふとされと香圖ハ
卷の名れ都雅ふして自然其形容も風流され衣服調度の縫箔詩繪武具馬具ふさ
是をうけ吉来合ふ發らされ幼穉人の五種は香の斷續を真分記號か加ゆれば形ふる由辨へ
知らぬもあれ本末圖のり桐壺と夢浮橋と補ふ**四**は記し百人首の教龜頭もの
而**二**物も偽なりと知る振る僕たれ源氏へ好物故數回讀實不奇絶と感下る講釈も
ても注ともも不分解條ハ十ふ九は源氏讀の源氏者ふびとをのふれ爰不我師一旦湖月
の光と十里鏡も移取るる頼朝義經の外不源氏の君あると大打孩兒す知る
る源氏不讀の源氏かり數多出來るるをいめは是え高きを卑き下し花の梢も
折る折ると柏之助が奸通譯を不到して發明一弥頑む拾遺の愚作も彼賣トク
す當りあつぬの八卦も當るも八景近江の海浅らぬ御引まふ手習夢浮橋
す當りあつぬの今も只顧祈るる

三

癸丑孟陬良辰

笠亭仙果記



加羅カハラ 公キミ 自然シズカニ 變カ 成ル 事コト 也ナリ



真那賀女マナガノメ 女メ 也ナリ 色イロ 多タ 曲マ 也ナリ



舞女マユメ 瀬賀井セガイ

佐尊羅僧サソノラソウ 僧ソウ 也ナリ 色イロ 多タ 曲マ 也ナリ

鬼道惠心院キダノエシんいん の
験僧ケンソウ 深盤法師フカバンボウシ

三柱目トツツク





此の物語は
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり

昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり

昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり



昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 ありけり

作者の
 意は
 如何なり
 如何なり
 如何なり
 如何なり



Vertical text columns on the top left of the left page, including a title box with the number '二'.



Vertical text columns on the bottom left of the left page.

Vertical text columns on the top right of the right page.

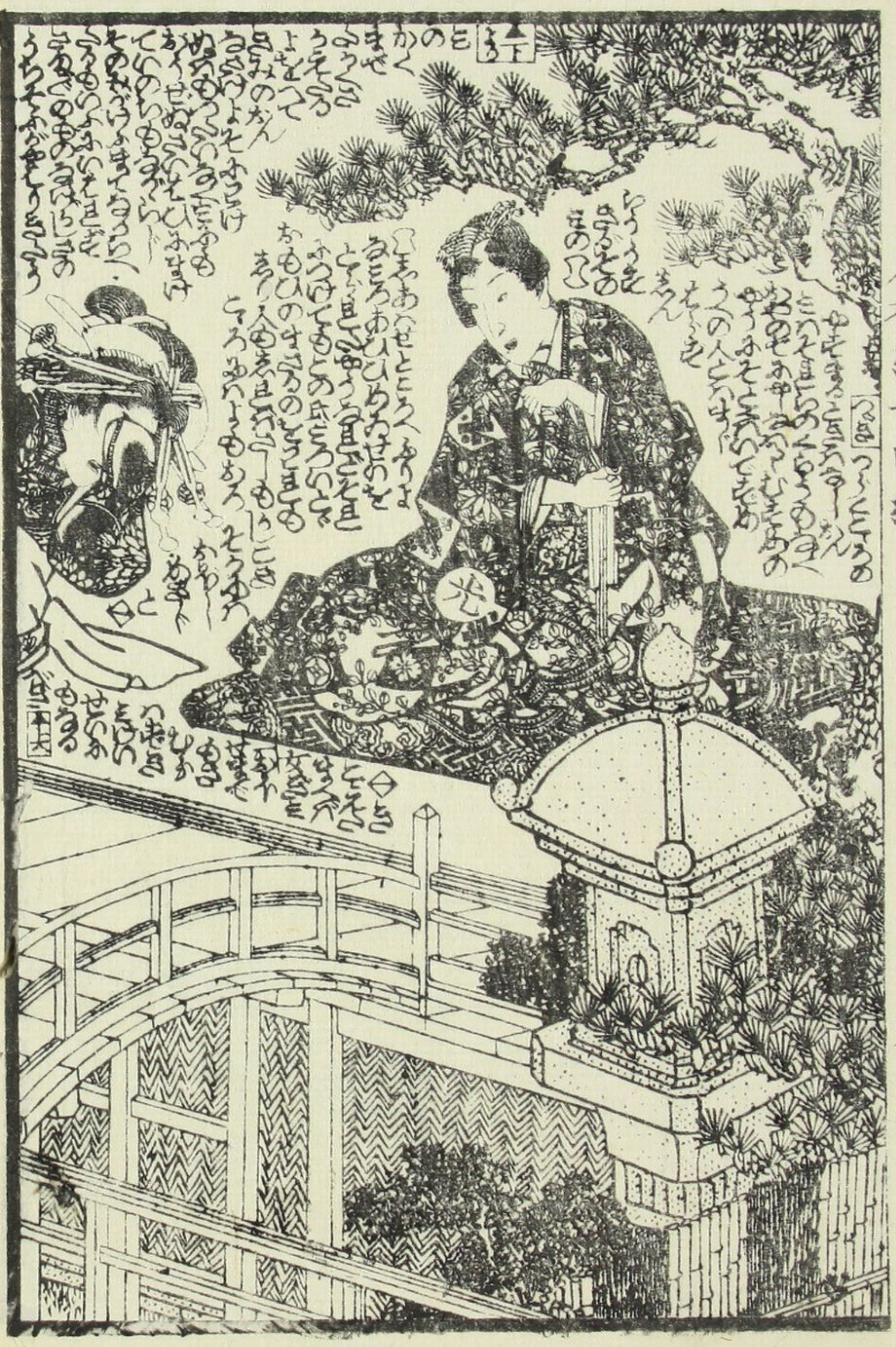


Vertical text columns on the bottom right of the right page.

Vertical text on the right edge of the right page.

Vertical text on the left edge of the left page.

Small vertical text on the right edge of the right page.

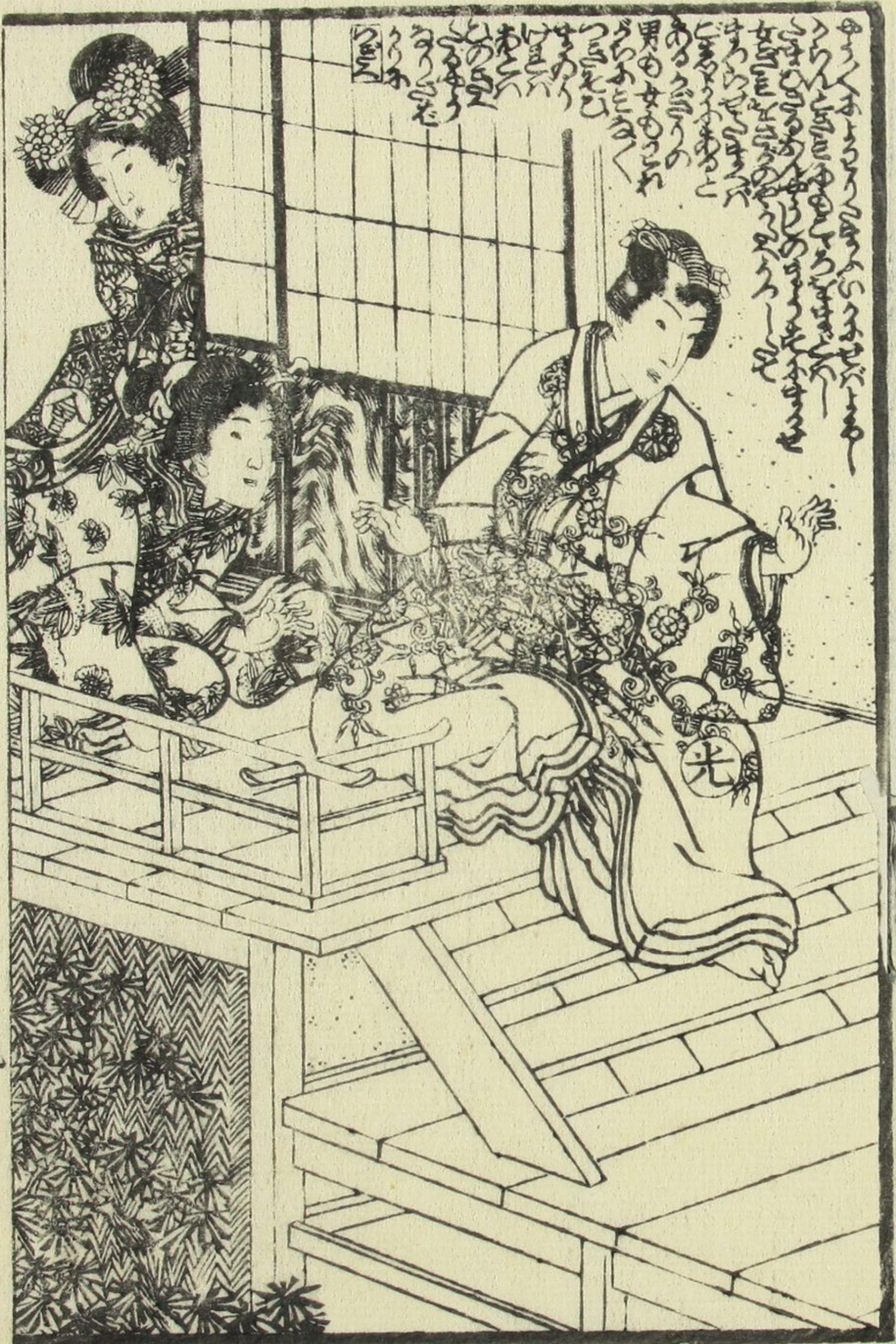




三十一日



三十一日



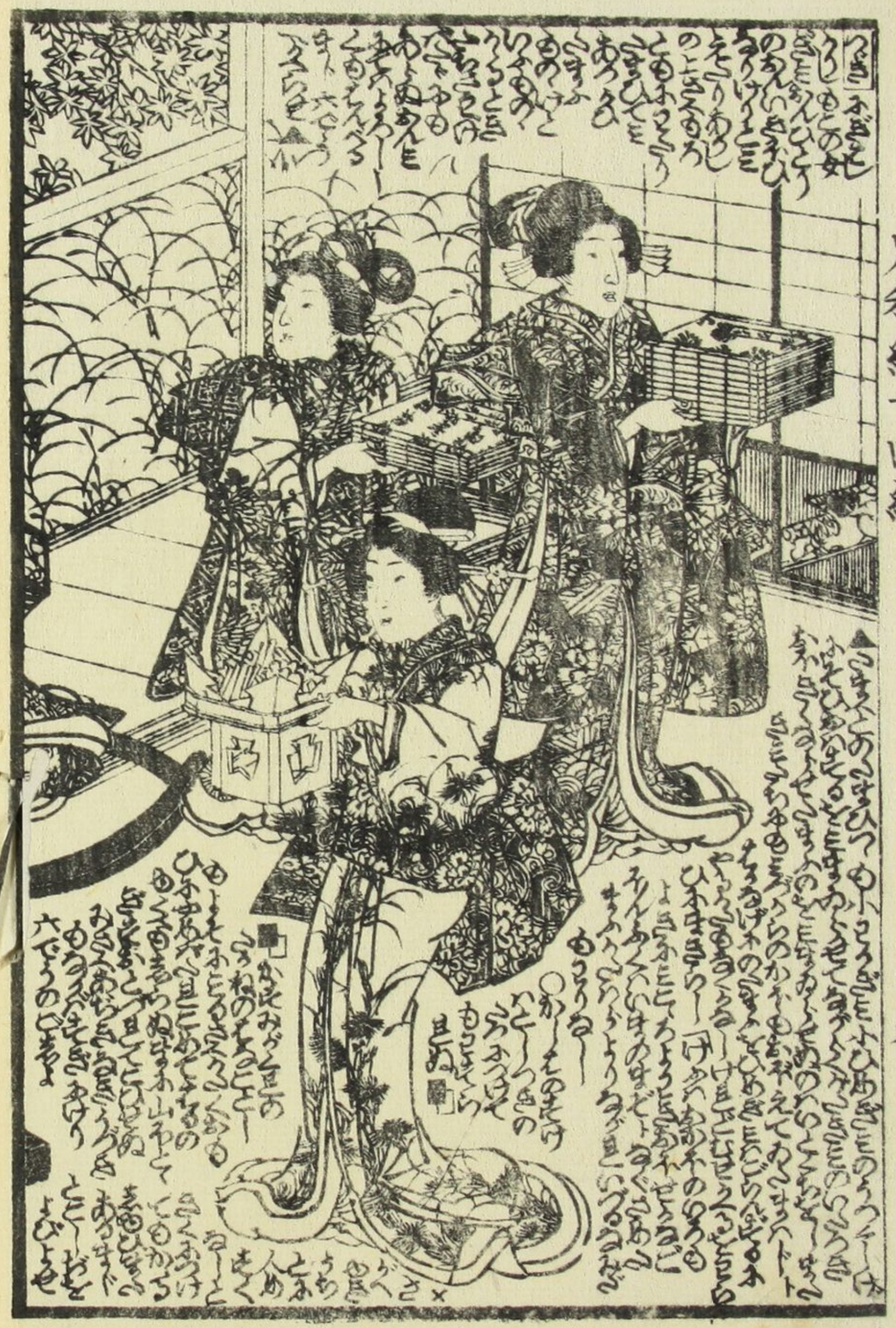
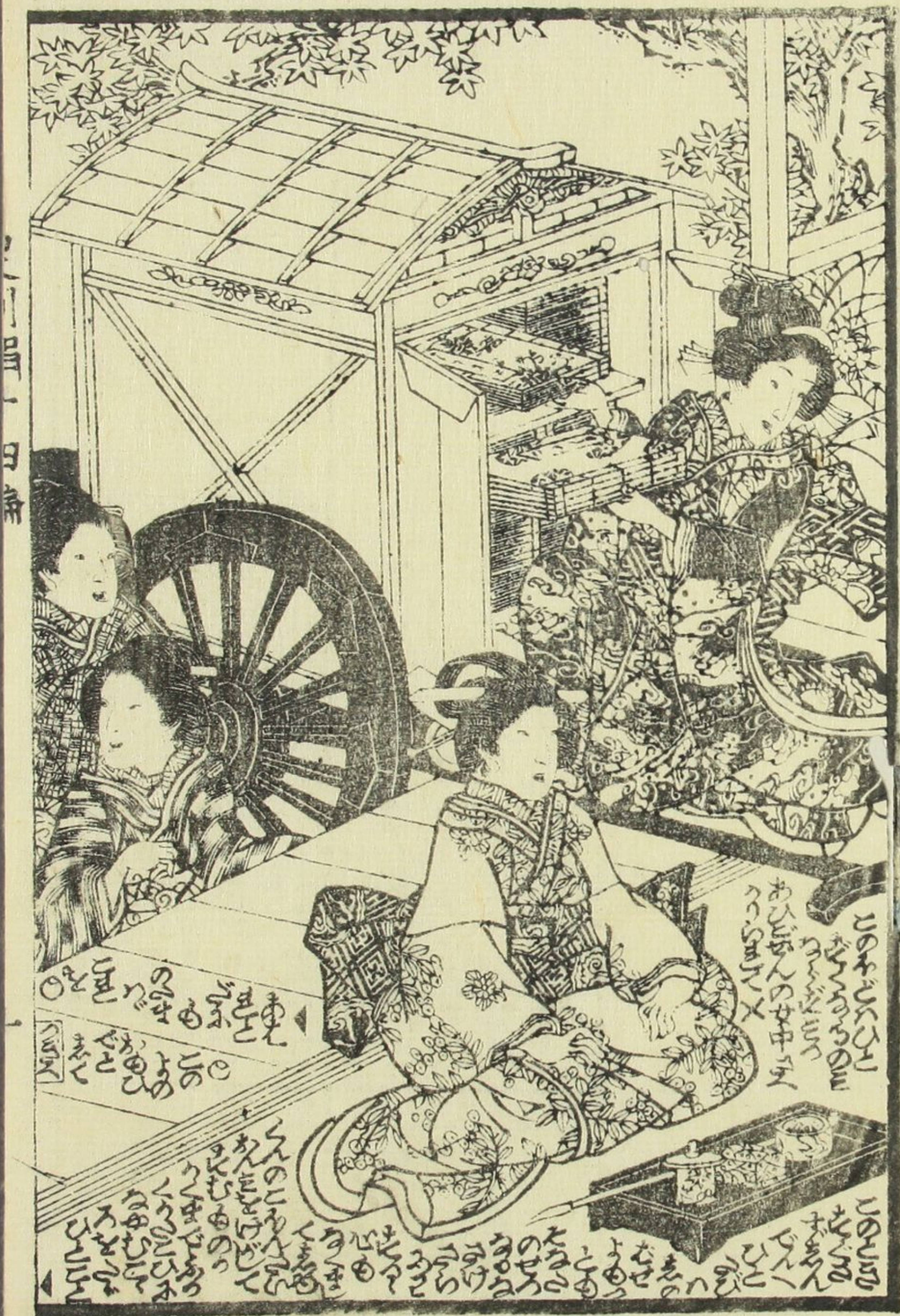
此の如きものを見れば
 人の心もさかたに
 なるべしとて
 思ふに
 かなしき
 ことなり
 といふ
 ことなり

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十



此の如きものを見れば
 人の心もさかたに
 なるべしとて
 思ふに
 かなしき
 ことなり
 といふ
 ことなり

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十



足利綱一四郎

丙辰春錦橋堂新板

口中御藥 固齒散 大島百編
 功一ぬきを一うたえ一うま血
 能一血のくる一たをを直
 能。用ひきうのうまふくうおまひ

精製 白妙 世二銅
 清浄 白妙 世二銅
 精製 白妙 世二銅

疾復の太奇藥 百代
 小児男女子も一色も治る良方

浮寐鳥朧漣 五編空中樓花咲作
 捕一陽齋豊國画

葛葉丸重錦 五編万亭應賀作
 捕一陽齋豊國画

英雄五弁 五編万亭應賀作
 捕一陽齋豊國画

雛鳥七湯壽 紅摺 山東菴京山作
 大本 一冊一陽齋豊國画

菊庚子集箱 中本形山 東菴
 金冊京山 作

庄 地本 江戸中橋廣小路
 錦繪 **山田屋庄次郎**

仙果作
 國貞画



二十二人と云ふ大島
 仙果作
 國貞画





Handwritten calligraphic text in the upper portion of the image, including the characters 新 (Shin) and 落 (Raku).

Handwritten calligraphic text at the bottom of the image, including the characters 一 (Ichi) and 四 (Shi).





三十一回

音穴の形勢
寸法畧之

仙果化
因貞画
裕林堂
梓

何々
手深小
むら
さ

第十四編
下巻

右樂家強七巻ふんえん



琴軋之圖

長二寸半
厚五厘

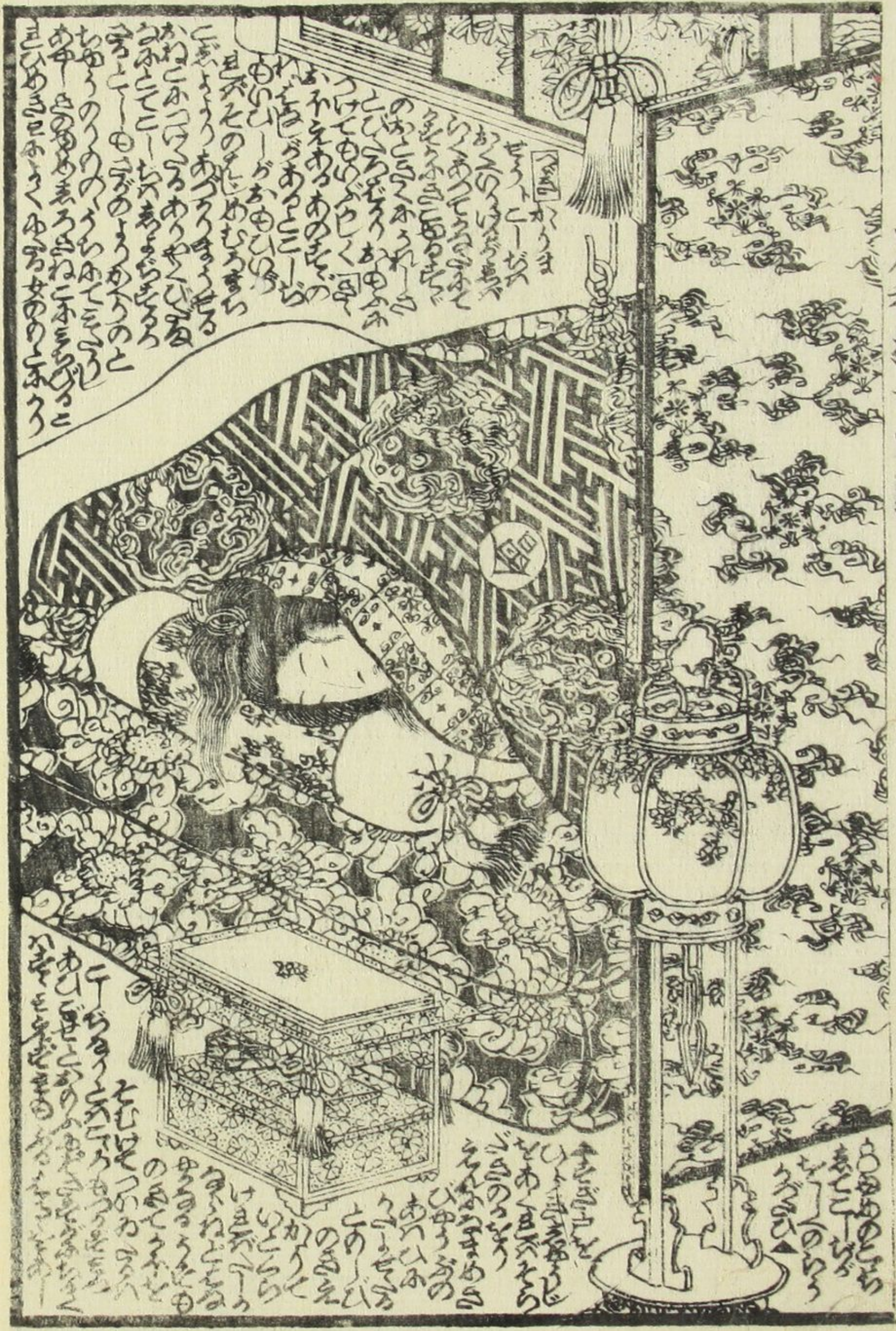
こころの焼あつ
水牛角ぞりて



和琴柱之圖
楓枝ぞりて

高二分
四





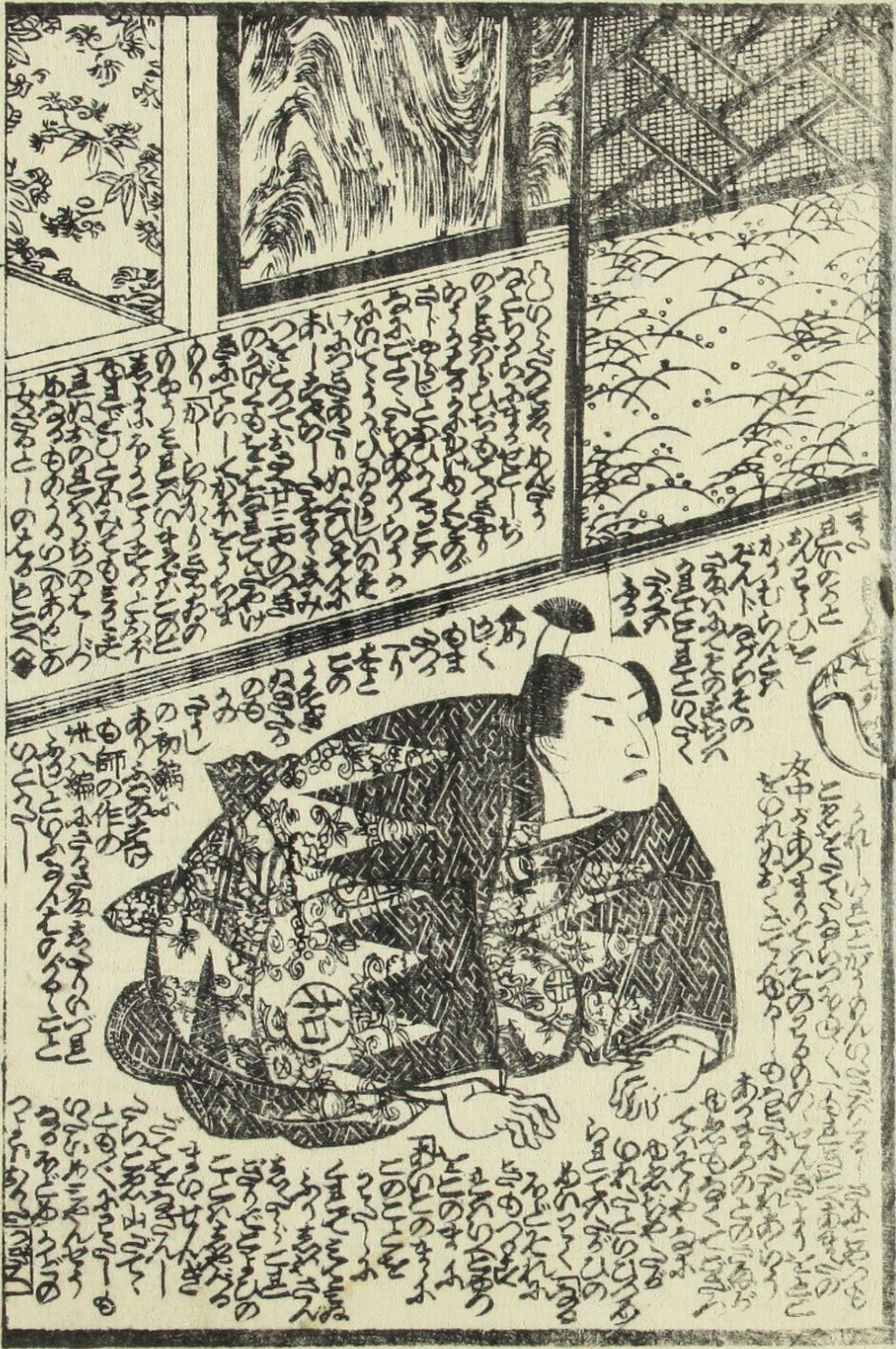
Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a haikai or waka poem, located in the upper left corner of the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a haikai or waka poem, located in the lower right corner of the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a haikai or waka poem, located in the upper right corner of the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a haikai or waka poem, located in the lower left corner of the illustration.



二四一 日 雅

一 日



夏 糸 結 一 日 雅

一 日



此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 其の趣向は、
 全く異なる。

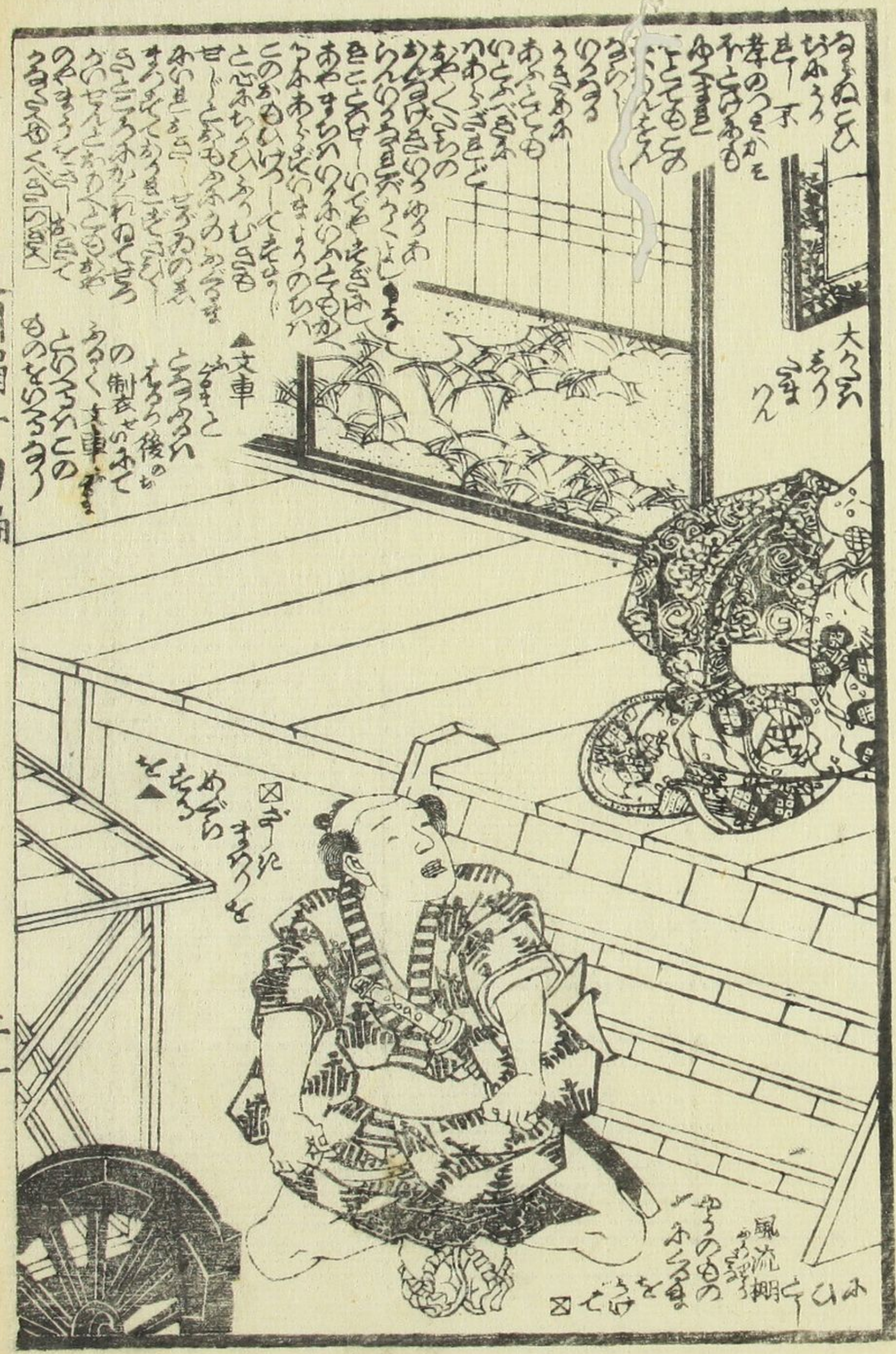


此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 其の趣向は、
 全く異なる。

此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 其の趣向は、
 全く異なる。

能諧源氏と云ふ書とある物語の大意と耳近き
 語の多くを採りて、贈答の詠哥の多くを採りて、
 此若菜の下めの
 此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 其の趣向は、
 全く異なる。

作者仙果いん



足利綱十四郎

丙辰初春錦橋堂新板目錄

教草如房形氣

十六編 山東菴京山作
十七編 梅蝶樓國貞画
十八編

名天百坊 吾妻下

五拾三驛

初編 雪住作
六編 芳虎画
七編 芳虎画
八編 芳虎画
九編 芳虎画

名吉屋三

濡煮稻妻紙
五編 調布作
同 画

沙所 帝公

七編 万亭應賀作
八編 一猛齋芳虎画
九編

品定五人娘

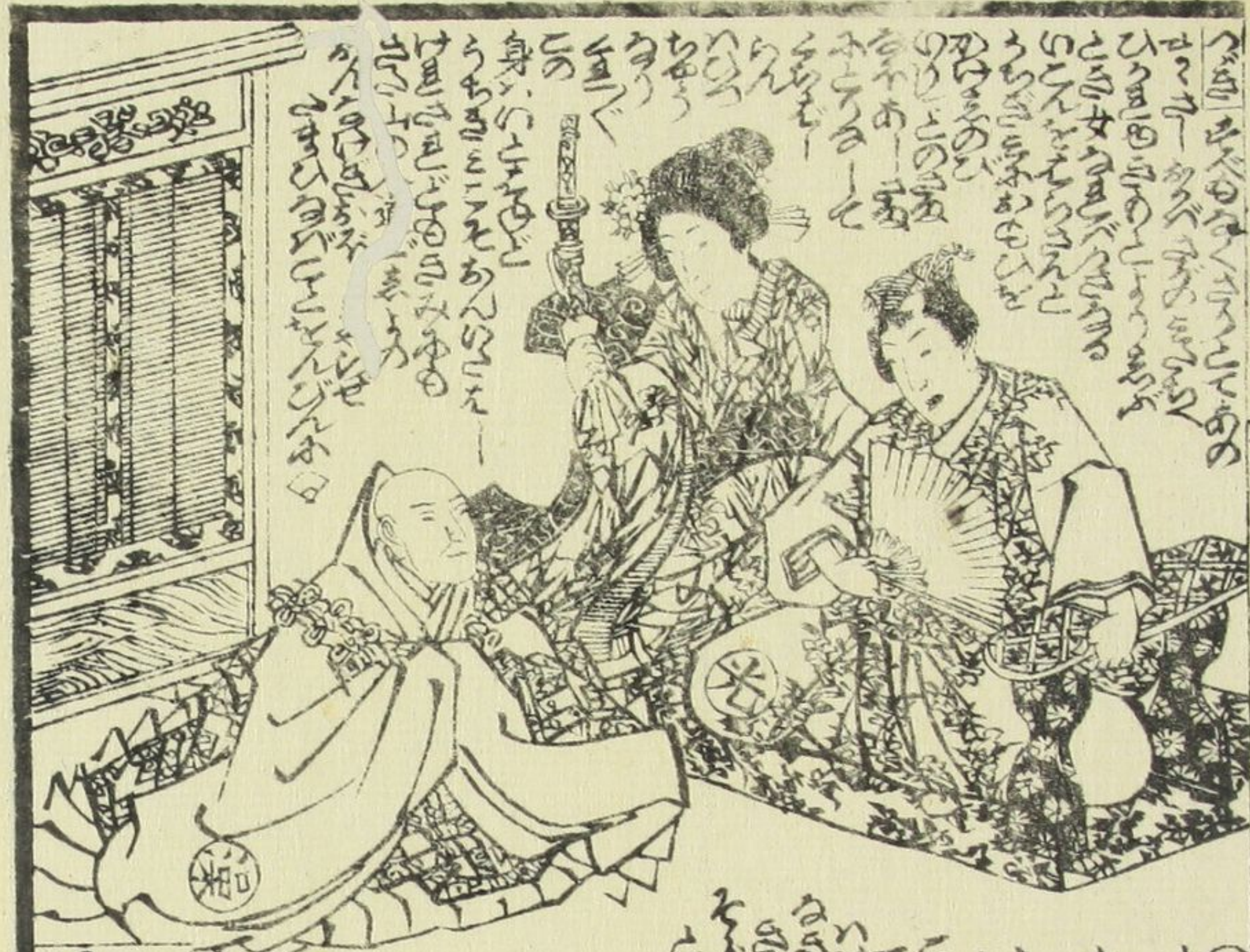
六編 京山作
七編 芳虎画
結鹿子紺屋説
三編 花咲作
四編 豊國画

豆利繪手深窓

十八編 松亭金水作
十九編 梅蝶樓國貞画
二十編

造榮櫻叢紙

十編 梅考作
大尾 芳虎画
全
地本 錦繪問屋
江戶中橋廣小路
庄兵衛改
山田屋庄次郎



仙果作國貞画

Handwritten text in vertical columns, likely commentary or descriptions related to the illustration and the book's content.

